

令和5年度 第2回羽島市特別支援教育連携協議会 (会議要旨)

日 時	令和6年2月29日(木) 午後2時00分～午後2時45分	
場 所	福祉ふれあい会館 地域ふれあいスペース	
出席者	<p>【出席委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中校長会を代表する者 ・特別支援コーディネーターを代表する者 ・学識経験者 ・羽島市特別支援教育助成会を代表する者 ・羽島市医師会代表 ・羽島市教育委員会事務局を代表する者 ・羽島市教育委員会事務局職員の中から教育長が指名する者 ・羽島市子育て・健幸課長 	<ul style="list-style-type: none"> ・羽島市内保育園及び幼稚園を代表する者 ・発達支援センター代表 ・羽島特別支援学校代表 ・手をつなぐ親の会代表 ・西部幼稚園園長 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育課特別支援教育係長 <p>【欠席】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4名
	<p>1 あいさつ</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 羽島市特別支援教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の羽島市特別支援教育の重点について ・令和6年度の取組について <p>(2) 令和5年度会務報告・令和6年度会務計画(案)について</p>	
まとめ	<p>3 ご指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期からの一貫した支援体制について、各関係機関との連携の中で早期からの教育相談や不安や悩みを解消する取り組みが充実している。 ・インクルーシブ教育のシステムの構築について、国連等から日本の特別支援教育の体制に関わり何度か勧告を受けている。しかし、保護者の立場になって考えると、特別支援学校・支援学級・通級指導教室が保護者を支援する拠点になっている点で有効だと思う。ただ、通常の学級でも支えられるよう、教員の専門性の向上、学校の支援体制の構築、環境の整備等を同時につくられていくことが重要である。 ・保護者の意向、本人の思い、先生方から見たその子の成長を的確に見極めながら可能性の幅を広げていけるようにしてほしい。 ・教員の指導力向上について、昨年度から市が取り組んでいる研修は大変重要だと感じる。初めて支援学級や通級指導教室を担当する先生にとって自信をもって教壇に立てるようにすることは大切である。また、学校の中核を担う先生が特別支援学級等の担任をもったり、教科担任をしたりすることが必要とされてきているのではないかな。 ・支援者(指導者)として「正しい知識を得る」「子供や保護者を孤立させない」「対象者をプラスのイメージで見る」ことを大切にしながら支えていけるとよい。 ・県はレベルに応じた研修を設けている。オンラインでいつでも(本人の都合の良い時間に)視聴することができるため、先生方はこうした研修を有効に活用し、知識を蓄えてほしい。 	
	※特記事項・・・ 特になし	